

	学校だより 第 2 号 令和 6 年 5 月 上越市立城西中学校	啾（そつ）とは、鳥が卵からかえるとき、殻の中で雛が鳴くこと。啄（たく）とは、親鳥が外から殻をつつくこと。両者相呼応した、逃すべからざる好機をいう。当校では、啾啄の精神から大きな成果が生まれると考え、職員玄関に掲額している。
---	--	---

「“ふつう”ってなんなのかな」

校長 五十嵐 守男



左の作品は、この3月に卒業した生徒が、総合的な学習の時間の「ミライ創造プロジェクト」で創ったものです。

「多様性の視野を広く 生きづらい社会を無くそう」というメッセージ。こちらを直視するまなざしの「強さ」と、うっすらと流れる涙が表す「悲しみ」の両方が伝わってきて、心を打たれました。

「先生とか、親とか、まわりにいる大人が、なんていうか…それぞれの『“普通”の物差し』みたいなものを持って。で、それぞれの“普通”を求めてくる。『自分は普通じゃないのかな』って思われるのは、かなりつらいよ。」

こう話してくれた生徒もいました。

命。人権。安全。社会秩序。これらを守るために、みんなで大事にしなければならない「ルール」や「スタンダード」

は、確実にあります。でも、それらをしっかりと学び、守ったうえで、認められるべき多様性や生きかたも、確実にあるのだと思います。

たとえば、部活動。以前のような「全員入部」であった時代はすでに終わり、生徒は多様な選択をしています。——1つの部の活動に、一所懸命取り組む生徒。部には所属せず、地域のクラブで、スポーツや文化活動をする生徒。複数の部に所属し、多様な活動を経験する生徒。放課後や休日を、学習や、趣味や、家族との時間に充てる生徒——。それぞれを自ら決め、充実させることで、「過度の強制」からは決して芽生えない「自律」の心が育ってくれば、と願います。

たとえば、性自認や性指向。このことについてカミングアウトしてくれている生徒もいます。制服の変更には、このような生徒たちの生きづらさを少しでも解消したいという願いも込められています。——お正月の駅伝で、ある監督がよく叫んでいた「男だろ！」という言葉。一時期、流行語のように使われていた「女子力」という言葉——。近頃はめっきり使われなくなりました。

『普通』ってなんなのかな」という本(ジョリー・フレミング、リリック・ウイニック著)が、2021年に世界中でベストセラーになり、日本でも2023年に発売されました(上杉隼人訳 文藝春秋)。

社会の変化は、間違いなく、そのスピードと幅を増しています。このような時代においては、「普通」という言葉の意味も、使い方も、大きく変わっていくのでしょうか。

上に紹介したような生徒たちのメッセージを真剣に受け止め、「ふつうって、なんなのかな」という問いへの答えを、一所懸命に考え続けていきたいと思っています。

制服の変更についてお知らせします

「共生社会の礎としての中学校づくり」の一環として、生徒と職員で、制服の見直しを進めてまいりました。令和7年度に入学する生徒から新しい制服に変更する予定です。制服の見直しに係る経緯の概要について下記にまとめましたので、ご一読ください。現中学生にアンケートを行い、5月末までに下写真の4候補から1つに決定する予定です。なお、令和7年度から数年間、現在の制服を着用可能な移行期間を設けます。価格や販売店等は、現在と変えない方向で準備を進めております。今後も随時、制服の変更についての情報をお伝えしてまいります。

【これまでの経緯の概要】**<令和3年度>**

- ・校則検討委員会（生徒、職員、学校運営協議会委員で構成）を特設。
- ・生徒、保護者にアンケートを実施し、学校運営協議会委員も加わって、校則の見直しを協議。
- ・登下校時の服装や校内のルールについて見直し。

<令和4年度>

- ・「性自認の多様性等を考慮し、制服の見直しが必要ではないか」という意見のもと、校則検討委員会を中心に「制服の学習会」を実施。
- ・「制服の学習会」で学んだことや感想を、全校生徒にも発表し、生徒一人一人が「制服の在り方」を考える機会を設定。

<令和5年度>

- ・「校則検討委員会」を、「学校のアメニティー向上委員会」と改名。校則や制服の変更だけでなく、「過ごしやすい学校づくり」全般についての検討も進める。集会時等の長時間の床座りを避けて椅子に座ることにするなど、生徒が過ごしやすい環境づくりを推進。
- ・学校のアメニティー向上委員のうち、10名の生徒を制服検討委員として委嘱。
- ・制服の見直しについて、前年度までの流れを踏まえ、制服検討委員会で時期等を検討。
- ・制服製造業者を募集。3社から応募があり、各社から提出された企画書を制服検討委員会（生徒及び職員）で製造業者を決定。※製造業者：明石スクールユニフォームカンパニー（新潟市東区）
- ・3月下旬の制服検討委員会で検討し、制服の候補原案（スラックスタイプ、スカートタイプを各4種類）を決定。

<令和6年度>

- ・現中学生にアンケートを実施。スラックスタイプ、スカートタイプ各4候補から各1種類に決定。



生徒会入会式・オリエンテーション

4月15日(月)、新1年生を迎えて、生徒会入会式・オリエンテーションが行われました。リーダーによる委員会や部活動の紹介があり、1年生は真剣な態度で説明を聞いていました。城西中学校生徒会の一員としての活躍を期待しています。



新しいスクールカウンセラーを紹介します。

本年度からスクールカウンセラーとして赴任しました。昨年度までは城北中学校、板倉中学校、清里中学校、高田高等学校安塚分校で勤務しており

ました。本年度は城西中学校以外の兼務校は三和中学校に勤務します。

お子さんの対応、夫婦間の問題、親族間の問題など困ったことがあればぜひ、利用してみてください。

どうぞよろしくお願い致します。



教育実習が始まっています

5月2日(木)～5月24日(金)まで15名の教育実習生が実習を行っています。授業はもちろんのこと、休み時間や部活動、行事など生徒と共に様々な場面で実習をしています。お互いに多くのことを学び合える充実した日々になることと思います。

6月の予定

- | | |
|---|---|
| 3日(月)オープンスクール(～7日)
チャレンジテスト(～7日)
眼科検診(3年) | 12日(水)地区大会(陸上②・ソフトテニス②・卓球①
・水泳②)給食なし |
| 4日(火)歯科検診(1～3年) | 17日(月)地区大会(各種①、ソフトテニス③)給食なし |
| 6日(木)耳鼻科検診(該当生徒) | 21日(金)地区大会(各種②、卓球②)給食なし |
| 11日(火)地区大会(陸上①・ソフトテニス①・水泳①)
給食なし | 22日(土)地区大会(各種③・卓球③) |
| | 25日(火)積み重ねテスト②(～28日まで) |

* スクールカウンセラー6月の訪問日・・・5日(水) 19日(水) 26日(水)



おんしゅう かなた
恩讐の彼方に

しろかね くがね たま なにせむに 優れる宝 子に及かめやも (やまのうえのおくら まんようしゅう 巻五の八〇三)
(銀も金も宝石も、それがいったい何になるというのか。子に優る宝など、あろうはずもない。)

1969年(昭和44年)7月16日。アポロ11号が、人類初の月面着陸を成功させました。アームストロング船長の「これは一人の人間にとっては小さな一歩だが、人類にとっては偉大な飛躍である」という言葉はとても有名です。しかし、乗組員だったマイケル・コリンズさんが、月から地球を眺めながら語った言葉のほう、今、とても大切に思えます。



「世界の指導者が はるか上空から自分たちの星を見たら

彼らの態度も 根本こんぽんから変わるはずだ

何よりも重視している国境は見えないし 言い争いもぱったり聞こえなくなる

地球は 見える姿のとおりにならなければならない

資本主義者も共産主義者もない 青と白の姿に」

マイケルさんは、月に行って、「本当の地球」を発見したのです。それから55年が経ちました。でも、今も地球では、あちこちで争いが絶えません。——3年前に、マイケルさんは亡くなりました。どんな思いで、この世界を見ていたのでしょうか。

争いの地では、いつも、多くの子どもが犠牲ぎせいになります。今、この瞬間にも、幼い命、尊い命がうばわれている。でも、そのことに、いつしか慣れてしまっている、私があります。ともすれば心を麻痺まひさせてしまっている、私に気付きます。

以前、日本人初の国連難民高等弁務官を務めた緒方貞子おがたさだこさん(2019年ご逝去せいきよ)が、ゆかりの地である上越市諏訪地区すわに来られた時に「総じて日本かたの方は、外の問題に無関心過ぎるのではないのでしょうか」とおっしゃっていたことを、自戒じかいを込めて思い出しています。

そのような地域のために、そこで暮らす子どもたちのために、できることはとても少ないかもしれません。だからせめて、今、私たちの近くにいる子どもたちに、温かく寄り添いたいと思います。「今」「ここ」にいる子どもたちの命と心を、大切にしたいと思います。

恩義おんぎも、うらみも、すべてを超えて。私たちみんなで。

一人一人の子どもこそ、私たちの、かけがえのない宝なのですから。